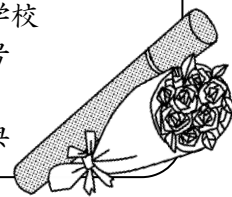




若葉台中学校

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/wakabadai/>

発行 令和2年3月25日
横浜市立若葉台中学校
学校だより 最終号
校長 岩永 徹
副校長 石平 正典



令和元年度 ありがとうございました

校長 岩永 徹

3月11日（水）、保護者や来賓の方々の出席を遠慮していただいた中、令和初となる第13回卒業証書授与式を挙行了しました。私の式辞の一部です。

「3年間の中学校生活を山登りに例えて『とざん学年』として過ごしてきた君たち。義務教育を終えるという同じ目標を目指し、友だちと力を合わせてきました。そして今日、頂上に到着。みんな一緒のとざんは終わりました。義務教育が終わり、これからは自分で進む道を選んでいくことになります。急な上り坂を進んでもいい。なだらかな道を進んでもいい。途中で休んでもいい。とざんがいやなら、海で泳いでもいい。歩くのがいやなら、自転車に乗ってもいい。すべては自分次第です。ぜひ自分らしく生きていってください。」

期待を胸に新たな年を迎えた1月でしたが、今は全世界で危機に直面してしまっています。元気が出ませんが、我慢の時です。必ずこれまで通りの普通の生活が、いずれ戻ってきます。その日を楽しみにしましょう。

3月25日（水）、久しぶりに登校する1，2年生を迎え、テレビ放送による修了式をもって、本校の令和元年度の教育活動は終わります。

本校に関わってくださったすべての皆様に、心より御礼申し上げます。
ありがとうございました。

1年間ありがとうございました。

副校長 石平 正典

思いがけない形での令和元年度の終わりとなりました。今後の情勢もはっきりしない中ではありますが、皆様のおかげで1年間の若葉台中学校の教育課程を行うことができました。4月に新任副校長として着任してから1年の間、地域の方々、保護者の方々をはじめ、多くの方に温かく支えていただきました。着任前に感じていた不安はすぐになくなり、若葉台の一員として様々なことに携わらせていただきました。

これからも若葉台中学校の学校運営にお力添えいただければと存じます。1年間本当にありがとうございました。

第13回卒業証書授与式

令和になって初めてとなる横浜市立若葉台中学校の卒業証書授与式が3月11日に行われ、83名の生徒たちが巣立っていきました。

今年は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ご来賓、保護者の方のご臨席が叶わず、在校生の参加もできず、卒業生と教職員だけでの実施となりました。

通常ですと、卒業期の3年生はさまざまな思い出づくりと振り返りをしながら、卒業式に向けて気持ちを高めていきます。それは3年生だけのことではなく、送り出す側の在校生もお祝いの気持ちを様々な形で表し、前日に心を込めて式場を作り上げて卒業式に参列します。しかし、今年はそれが叶いませんでした。

3年生も卒業式の練習が全然できませんでした。様々な不安を抱えながら、卒業式を迎えることになりました。せめてと、教職員一丸となって真心を込めて卒業式の準備をし、卒業式で精一杯の思いを込めて3年生の門出をお祝いさせていただきました。

当日は、前日の大雨が嘘のように晴れ上がり、暖かな気温の中で粛々と式は行われました。また、学校長の式辞や合唱での一コマなど、微笑む場面もあり、温かな式となりました。3年生も少ない練習期間であったのにも関わらず、緊張感を持ち立派な態度で臨んでいました。

卒業式では、生徒会長が自分の想いを答辞で語るとその言葉に卒業生たちは目に涙を浮かべはじめました。そして、最後の合唱では気持ちが一つとなり、涙ながらに最後まで一生懸命歌い切りました。非常事態の中でも、本当に感動的な卒業式となりました。卒業生の皆さん本当におめでとうございました。また、このような素晴らしい子どもたちを育ててこられた保護者の皆様ありがとうございました。

最後に、いつも子どもたちの見守りを続けていただいている地域の皆様も、本当にありがとうございました。これからもどうぞよろしく願いいたします。



いよいよ卒業証書授与



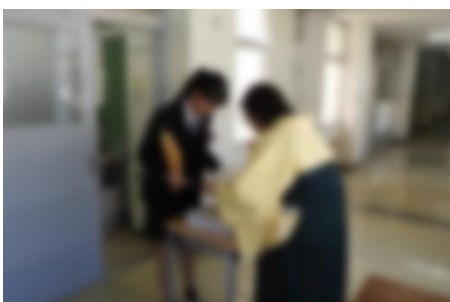
在校生代表の言葉



様々な思いを歌声にのせて♪



涙と笑顔が入り混じって式場を後に



担任から最後の連絡票



卒業生全員で最後の記念撮影

令和元年度学校評価

来年度に向けて、職員の反省・保護者の評価・子どもたちの評価をアンケート形式で行い、それぞれの分析や課題、今後の取組についてまとめました。色々な角度から評価や反省をいただきありがとうございました。また、中期学校経営方針(3年間の計画)が令和元年度に策定されました。今年度の反省や評価と照らし合わせながら、来年度以降も若葉台中学校の教育課程を実践していきます。引き続き、ご理解ご協力をお願いいたします。

学校運営全般

保護者と教職員が話合う機会が十分でないとの回答もあり、家庭訪問や家庭連絡を充実させ、更なる保護者との関係構築を図っていきます。再来年度の新学習指導要領導入についても、保護者・地域の方々に理解してもらえるように情報発信していきます。

学校生活について

学校生活が楽しいと多くの生徒・保護者が感じているので、引き続きそのように感じてもらえるように指導・支援に努めていきます。他方、そう感じていない生徒がいることも自覚し、しっかりと寄り添いより丁寧に関わっていきます。

また、多くの生徒が規律ある中学生らしい生活を送っている中で、思いや考えの表現、夢や目標をもって行動することについては低い傾向でした。教育課程の様々な場面で意図的・計画的にそれらの力を育成していくのと同時に、地域の方々の協力を得ながら地域社会での経験の場も増やしていきます。

学習面について

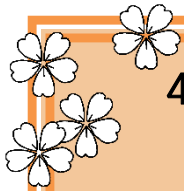
学習活動における意欲や家庭学習への取組が下降傾向にあります。学年や教科間で連携を強化し、教職員の指導力の向上と更なる授業改善を図っていきます。また、保護者との協力も得ながら、家庭学習へ取り組めるような習慣作りを推進していきます。生徒たちの「わかる」「できる」を増やししながら、確かな学力向上を図っていきます。

行事等諸活動について

体育祭や合唱コンクールなどの学校行事に対して充実しているとの評価が多く、教職員も生徒の達成感や自己肯定感を高める取組ができていると肯定的に捉えています。委員会や部活動においては、さらに計画的・意図的な指導や支援を進めていけるように、知恵を出し合い全職員が協力体制をとって生徒との関わりを大切にしていきます。

生徒理解について

教職員に悩みや疑問を相談しやすいと感じる保護者の割合が減少し、生徒の思いや取組への教職員の理解が低いと感じている生徒が一定数いることから、あらためて保護者や生徒との関係や生徒理解に対する姿勢を見直し改善していきます。その中でも特に、生徒の心に寄り添い成長を見守る姿勢を大切にしていきます。



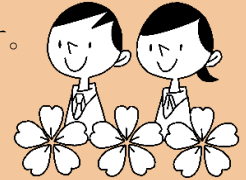
4月の主な予定

* 8日以降の教育活動については、3月30日（月）以降に横浜市教育委員会より通知があります。本校ホームページにも掲載しますのでご確認ください。

6日（月）入学式 13:00～

* 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、新入生のみの参加です。

7日（火）始業式



8日以降は次の内容が予定されています。

離任式

学級写真撮影、新入生オリエンテーション

部活動オリエンテーション

生徒会委員会認証式、朝読書開始、部活動仮入部開始

教育相談

内科検診、耳鼻科検診、心電図検査

授業参観・学級懇談会、学校・部活動・校外学習説明会

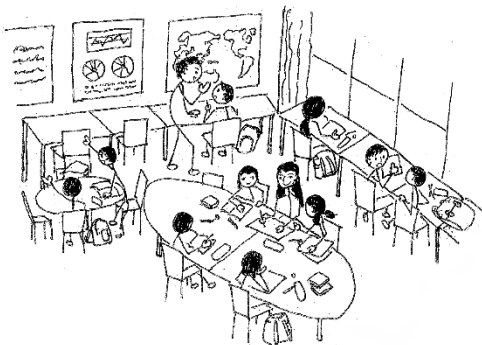
部活動本入部

生徒会委員会、中央委員会



若中寺子屋のお知らせ

これまで、およそ月1回行っていた放課後学習会を、令和2年度から「若中寺子屋」という形で部活動休養日に実施していきます。



これまでの放課後学習会は、個別の指導が行われてはいるものの教師主導で行われており、補習的な形態でした。それに対して「若中寺子屋」では、生徒の主体的な学びの場として地域コーディネーターさんを中心として運営され、生徒同士が教え合いながら学びを深めていくことを狙いとしています。横浜市の教育実践ボランティアを活用し、大学生に学習サポートに入ってもらっています。また、教員も寺子屋の場を活用してもらい、サポートに入ることもあります。

今年度より環境整備を進めて参りました。来年度は多くの生徒の皆さんに若中寺子屋を利用してもらい、活性化させていきたいと考えています。

学校のメール配信の更新について

現在本校では、学校の配信メールは「まちコミ」メールを使用しています。現1年生、2年生の年度更新は、4月に学校の方で行います。そのまま継続してお使いくださいようお願い申し上げます。

登録をされていない方は、4月にご案内をいたしますのでご登録ください。